

平成23年度

第1回 作手地域審議会

平成23年6月5日

新城市作手総合支所 第一会議室

9：00開会

・会長あいさつ

会長

・議事録署名委員指名

清水委員

村田委員

議題 (1) 平成23年度新城市めざせ明日のまちづくり事業審査

事務局 審査等について事前確認

事務局 それでは事業者の方に入ってください。

(亀山城址・古宮川環境整備クラブ入室)

会長 それでは只今から1番の「亀山城址・古宮川環境整備クラブ」の説明をお願いします。

亀山城址・古宮川環境整備クラブ (以下、亀山ク)

・申請内容について説明 (8分間)

会長 ありがとうございます。それでは続いて質疑応答に入ります。

委員 質問ではありませんが、大変緻密な計画を立てていただいて、大変ありがたいと思っています。特に幅員も2mということで、おそらく軽トラくらいを想定しているのでしょうか。傷をつけるのも最小に抑えているというような配慮もしてやっていただいたということで、大変感謝をしております。ということをもまず申し上げておきたいと思います。

会長 他にご質問等ございましたらお願いします。

委員 計画案を見させていただきまして、本当にきちんとできている計画案だと思いました。そして、私も今年、古城まつりに参加させていただき、その前日に行灯を見に行かせていただきましたが、行灯が立てられている所は、明るかったのですが、ないところは暗く、木の根っこにつまずいて転びそうになったりして、雰囲気はとても良かったのですが、とても危険だとも思いました。こんな風に今年の古城まつりが盛大に行われていると、頂上に行ってもらいたいという思いがどの方もあると思いますし、特に地元の方はそういうことを強く思われると思いますので、そういう意味でもいろんな機材を運ぶという搬入路を作られるということは、大変ありがたいことだと思います。それから、山の持ち主の方々に承諾を得てやっていただいているということも大変いいことだと思います。今、お話しを聞いておまして、立木が17本出るというお話しでしたので、その木を有効に利用するような手立てがあれば良いのではと思いましたが、ベンチのようなものだとか、そういうものを作られると記念になって、山の持ち主の方にも還元できるのではないかということを思いました。

亀山ク　　今、お話しがありましたけれども、行灯の明かりだけでは転びそうになったということでしたけれども、大変申し訳ないと思います。しかし、あそこには電源がありませんので、私どもでは何ともなりません。イルミネーションについては、特別に電気の契約をして点けているという状況です。

亀山ク　　伐木につきましては、搬入路が急ですので、細いものは水きりに2、3か所入れるとか、土留めなどに使い、残ったものがあれば丸椅子を頂上に作ろうかと考えています。頂上にあるものは、ブロックなど何でもいたずらされて全部お堀の下まで投げられてしまうことがあるので、何か置くのもどうかとも思いますが、椅子くらいは活用できるのではと考えております。

委　員　　計画を見させていただきました。ありがとうございます。作手地区は自然公園区域に入っている所が多いので、もし入っていたら、申請に時間がかかると思いますが、ご確認していただきたいと思います。

事務局　　この区域は入っておりません。

委　員　　それなら結構です。

委　員　　規約についてですが、第2条の会員の資格で、新城市作手清岳住民と2番目の参加を希望する県内外の者とあります。この整備クラブというのは作手のシンボルのようなものですから作手地区の沢山の方が参加するのが良いと思いますが、清岳住民に限定された表現はどういうお考えからでしょうか。

亀山ク　　実際に限定はしていません。広く、誰でも、ということになっております。

委　員　　それでは第1項は作手地区内の住民という解釈でよろしいですね。

亀山ク　　はいそうです。

委　員　　わかりました。

委　員　　確認ですが、図面が添付されておりますが、一応91.6mで車が入るところから頂上まで道ができるという理解でよろしいでしょうか。それともう1点、結構急な場所があると思います。先程、立木を利用して排水等を考慮されるということですので、碎石の量というのも十分検討されてはいると思いますが、急なところへ道を作られると思いますので、その辺の対策が十分かどうか、2点お聞かせいただけたらと思います。

亀山ク　　一応、二の丸の倉庫の前まで行く計画であり、あくまで軽四の4駆ぐらいが通れるということで、入り口には鎖などを付けまして、常時は入れないようにしたいと思っております。碎石につきましては、15cmくらい入れれば何とか落ち着くのではないかとということで、その分も見込んで27㎡に設定してあります。

事務局　　そろそろ時間になります。

会 長 それでは 丁寧な説明ありがとうございました。

事務局 ありがとうございました。退席をお願いします。

(審査表記入)

(審査表回収)

事務局 それでは、時間になりましたので2番目の団体に入っていただきます。

(さわやかネットつくで入室)

会 長 ご苦労さまです。それでは早速、計画の説明をしていただけますか。

さわやかネットつくで (以下、ネット)

・申請内容について説明 (8分間)

会 長 ご苦労さまでした。ではどなたからでも結構ですので、ご意見がありましたらお願いいたします。

委 員 規約についてですが、1条に「事務局を作手村役場企画課内に置く」とあります。作手村企画課はもうありませんので、団体として組織されているのであればきちんと見直しをしていただきたいと思います。

ネット すみません。検討し総会に諮りたいと思います。

委 員 2点お伺いします。それぞれの地区に防災協議会というのがありますが、その取り組みとの違いと、対象を若い世代の親子にしぼった理由を教えてください。

ネット まず、地区の防災協議会との違いですが、地域というどうしても男性中心になってしまって、なかなか女性が参加する機会がないので、女性の団体が主催すれば、女性が気楽に出てこられるのではないかということ踏まえて計画しました。

ネット 若い世代にということですが、女性がなかなか出られないということと同じような意味合いで、若いお母さんというのはなかなか防災の会があっても出られないことが多いように思います。それで子どもも一緒に出てこられるような取り組みをしようと思いました。これは人形劇と言うか、皆で一緒に作って遊ぼうという、春日井に住んでいらっしゃる楽大夢というグループの公演ですが、その中で小さな子供さんにも分かるようなかたちで、震災があったらこんな風にするというよと、遊びの中で子供にも伝えてもらいたいし、子どもと一緒に出る事で若いお母さん達も出やすくなるのではないかと考えました。

委 員 さわやかネットの活躍についてはいろいろなところでお聞きしたりして知っておりました。今、お話を聞いて、どちらに主眼をおいておられるのかということを一つ思いました。ネットワークですので、いろんな世代の方達と作っていくことが目的で、この防災というものを手段として選ばれたのでしょうか。防災というのはとても

大切なので、みんなにそれを考えてもらおうというのが主なのか、その辺がちょっと曖昧のように思って聞いておりました。私としては、もちろん女性が防災について考える機会を作ってくれるということが、とてもありがたいと思いますが、防災に対して、さわやかネットの方達がどんな課題をもっていらっしゃるのか、その辺の洗い出しをしてみえるかどうかがこの申請書からは読み取れませんでした。もう少し具体的に、例えば、私は、作手の地域にとって、震災だろうが、水害だろうが、台風だろうが、一番困るのは、道路が寸断されてしまった時にライフラインが全て途絶えてしまうというところが心配です。私の課題はそれであるし、また、小さいお子さんを持っておられるお母さんの課題は、その時に子供達の対策をどうしたらいいかというように、また違うと思います。年代による課題というのがあると思いますので、今、〇〇さんがどう思っているのか、〇〇さんはどう思っているのか、その辺のところや、お子さんのおられる若いお母さんが、どういう風に思っているのか。作手の地域に合った防災というものは何が必要なのか、若い世代、中間世代、お年寄り世代はこんな風ですよ、という答えを出すようなお話しをしていただきたい。そういうことからネットがまた、繋がっていくのではないかとことを思いました。

ネット まだ、開催まで期間がありますので、今言われたことを皆で検討してこの事業が意義あるものにしていきたいと思います。よろしくご理解をお願いします。

ネット さわやかネットの事業の関係ですが、さわやかネットは特に防災を目的としているわけではなく、この地域でいかに住みやすく、みんなで助け合える暮らしができるかということ。理念としては、男女共同参画というように謳っておりますけれども、それは結局、みんなが一緒に助け合いながら住んでいける地域づくりだと私たちは理解していきまして、その趣旨に沿った活動を今までしてきました。その一環として、今回は震災の問題があったので、防災について考えてみようということでこのテーマを選んだということです。何年か前にも、阪神淡路大震災で実際に地域でネットワークを結ばれた井上さんという方をお呼びして講演会をやったことがあります。その時も地域づくりの大切さということがお話しの中から分かってきた経緯があります。今回も、今おっしゃってくださったように、まだ私たちはポイントを決めていませんので、今、〇〇さんが言ったように、これからポイントを決めて考えていった方がいいと思います。ありがとうございました。

委員 今のお話しでだいぶ分かってきましたが、さわやかネットが男女共同参画を機に結成されたとういことで、その流れをひいて女性の方がこういう企画をしていただけたというのは日本全国、市も当然ですが、男女共同参画を推進している意味でも大変ありがたいと思います。事業内容を見せていただいて、〇〇委員も指摘されたように、実施前後の活動や、女性として非常時のことをどう考えていくかという話し合い、事前に住民に呼び掛けることや、講演の後に話し合いの場を持つだとかの広がりが見受けられないので、その辺をしっかりといただけると、より効果があるのではないかと思います。その辺のところをどう考えてみえるかということと、この2つの団体を選んだ理由を簡単に結構ですので教えていただきたいと思います。

ネット 確かに一過性のものにしてはいけないと思っていますので、今、ご指摘いただきましたように、行事の後と前も準備をきちっとして、後のケアも考えていきたいと思えます。どうして選んだかということですが、レスキューストックヤードは名古屋で活

動しているNPO団体で、阪神淡路大震災が起きた時に名古屋から震災地に支援活動に行かれた栗田という人を中心に生まれた団体で、阪神淡路大震災をきっかけにボランティア活動が積極的になったという経過があります。そこからネットワークが広がって全国で防災について考える活動が広がりました。その流れの中から2002年にNPOとしてレスキューストックヤードという形で発足した会です。いくつかの団体がありますが、名古屋の中で定期的に活動をしていて、今回の東北大震災の時にも真っ先に駆けつけて必要な所に必要な支援をしている団体として非常に信頼を得ているところでしたのでここを選びました。もう一つの鬼剣舞ですけれども、楽大夢という企画制作グループです。いろんなバージョンがありますが、その中で小さな子供も一緒に遊べるようなバージョンを選んでみました。子どもと大人を対象に地元で活躍しているグループですので、これはちょうどいいという基準で決めました。以上です。

委員 皆さんが心配しているのは、この計画を見る限りこういう会をやって終わり、という風に読めてしまうことだと思います。したがって、先程言ったように、事前の準備などこの他に何か活動があるという計画にしておいてもらえると非常に採択がしやすいという風に思います。そうすると、予算の配分もちよっと変わってくるのかなと思います。報償費というのは、もう変更できないものでしょうか。

ネット 今の所はできません。

委員 ありがとうございました。

事務局 ありがとうございました。退席をお願いします。

(審査表記入)

(審査表回収)

事務局 それでは、時間になりましたので3番目の団体に入っていただきます。

(親子で楽しむクリスマス・コンサート実行委員会入室)

会長 ご苦労さまです。それでは早速、計画の説明をしていただけますか。

親子で楽しむクリスマス・コンサート実行委員会 (以下、親子)

・申請内容について説明 (8分間)

会長 ありがとうございました。それでは、どなたからでも結構ですので、お願いします。

委員 クリスマスということで子ども達も盛り上がると思うのですが、事業の日にちを12月4日に設定した理由を教えてください。それから、布ですが、ここで買うことにした理由を教えてください。

親子 12月4日にした理由ですが、その後の週になるとつくでの森の音楽祭の演奏が重なって入ってきまして、無理だということで、また、12月24日になると、皆さん

がお家の都合などで来られないと思ひまして、少し先取りですが4日にしようと思ひました。布を買うお店を選んだ理由ですが、私自身、洋裁が好きで子どもに服を作ったり、自分の服を作ってみたりしています。新城市内で買おうと思うと取り寄せになる事が多く、サンプルを見て買うのは難しい。ある程度布が揃っているお店に行こうとすると、名古屋までいかないといけな。スタッフがみんな子ども連れなので、そういうスタッフが行って、何時間もかかってしまうことを子ども連れでやるのは現実的に厳しいかなと思ひました。ネットで安く、サンプルは家に取り寄せて、という感じで、家で話しあつてやる方が、私たちのスタイルに合っているのではないかということでお店を選びました。

委員 いろいろやる事は大変いいことだと思いますが、衣装にお金がかかるので、その衣装を終わった後どうするのか、1回だけで終わってしまうのはもったいないので、何か活用方法を考えていければお聞かせ願ひたい。

親子 衣装を自分達で作ったという思ひ入れもありますので、できれば新城の会場でも公演のように回っていけることができたなら素晴らしいと思ひています。作手でもやり、新城の会場でも日にちを変えて、改めて新城鳳来地区公演みたいに出てたら一番いいというふうを考えています。

委員 親子で楽しむというところに目をつけられたことがとても素晴らしいと思ひます。お母さん達もなかなか外へ出る機会がないし、こういうところで仲良くなって楽しくやっていけるというのはとてもいい事だと思います。ただ、これから少しずつ準備をしていくということで、計画通りにはいかないかもしれませんが、練習の内容を説明いたされたいと思ひます。もう一つは、予算案を見せていただいて、ピアノ調律代が入っていますが、市の施設がどのようなメンテナンスのシステムになっているか分かりませんが、学校だと1年に1度は調律に来ていただくという形でやってきたので、たぶんリフレッシュのピアノについても予算が取ってあるのではないかなと思ひます。北河さんがこだわってイベントの前にピシッとやっておきたいという思ひがあるかなと思ひますが、もし期間がダブって、メンテナンスをやるなら、それをお願いすれば調律代は他の部分に回せるのではないかなと思ひました。この時期はコンサートが続くので他の機関ともタイアップしながらやっていくといいのではないかなと思ひました。以上です。

親子 子どもたちが演奏をしてくれるので、夏休みを利用して、合宿ではありませんが音楽的なことを練習し、人形作りもすぐにでも始めたいという気持ちで準備はしております。調律ですが、リフレッシュセンターはいつも3月くらいに調律をやっていて、今年も3月にやってくださいました。自宅だと1年に1度という感じですが、本当は毎回やらないとピアノはすぐに狂ってしまうもので、コンサートとなると大勢の方が聞くものですから、耳の良い方であれば狂っていることがすぐに分かります。プロの人が演奏する時にはすごくこだわって演奏します。今回は私たち子どもも含めてアマチュアですが、やはりお客様のことを考えより良い状態でピアノを持っていきたいなということで調律を考えています。1週間後につくでの森の音楽祭の方で使われるようですが、森の音楽祭の方が後なので先に調律をすることになります。

委員 リフレッシュセンターのグラウンドピアノは、温度の差が激しくてすぐに狂ってしまいます。演奏の途中でも狂ってしまうほどで、12月はとても寒く、暖房を焚いたりするのですぐに狂ってしまいます。

事務局 ありがとうございます。退席をお願いします。

(審査表記入)

(審査表回収)

事務局 それでは、時間になりましたので4番目の団体に入っていただきます。

(朗読の会『木の葉のページ』入室)

会長 ご苦労さまです。それでは早速、計画の説明をしていただけますか。

朗読の会『木の葉のページ』（以下、朗読）

・申請内容について説明（8分間）

委員 質問が2つあります。1つは活動を始めて4年目になりますが、子どもたちの具体的な変化があればお聞かせいただきたい。それと、年間活動計画で被災地への本の支援とありますが、具体的にはどのようなことをお考えか教えていただけますか。

木の葉 子どもへの具体的な影響ですが、木の葉と一緒に練習をしてきた子どもたちは、読む事が楽しいと言ってくれます。朗読に参加することによって、本に親しむということはもちろんですが、自分を表現するという事や、指導者の方からご意見をいただいたことで、こういう読み方があるとか、作者の思いや背景、そういうことまで読み取ることができているのではないかと思います。それから、こんな人達がこんな風にお手伝いしてくれたとか、こんな状況の中で本を読んだなというのが心の中に残っていると思います。今参加している子達も中学3年生になり、最初は小学生でしたので、そこからの4年間はとても大きいということを感じます。大人になってからでもあの時にこんな物を読んだとか、バック背景にこんなものがあつたとか、誰かの膝の上に乗って本を読んだとか、そういうようなものと同じような感覚で心に残って行くのかなと思います。被災地への本の支援ですが、具体的には煮詰めていません。私たちの頭の中には、この朗読の会をやった時に、参加して下さった方から支援金をいただく等して、支援金で絵本を買い被災地へ持って行きたいなという思いがあります。これはまだ、具体的な計画ではなく、古い絵本でも使えるものならいいのかと思ったりして、まだ煮詰めてはいませんが頭の中にはそういう思いがあつてここに書きました。

委員 ありがとうございます。

委員 読み聞かせを何年も続けてやってくださっている中で、殆ど毎回参加させていただいております。素晴らしい活動をしていらっしゃるという風に思っております。今年も命だとか繋がるだとかのテーマを持って臨まれるということがまた大きな一つの

目標になってくると思います。この事業の活動の地域を作手地域全体にし、チラシを作って皆さんに来ていただくということを今聞きました。学校関係だといろんなところで読み聞かせのグループが作られており、素晴らしい活動をしておられます。鳳来地区や新城地区の読み聞かせグループに連絡を取っていただければ、熱心にやっつけらっしゃるので、きっといらっしゃるのではないのでしょうか。そういう交流もできたらいいと思いながら見させていただきました。

木の葉 ありがとうございます。出来るだけ多くの方にきていただければいいと思います。

委員 目的の中に若い年齢層の人達の動き出すきっかけづくりにしたいとありますが、具体的に会員を増やそうとか、若い層の新規の人を増やそうという計画があれば教えてください。

木の葉 具体的な計画はありません。ただ、若い方達が活動を一生懸命やっている事で、次の30代、20代の方達に刺激になって行くのではないかと思います。

委員 ぜひ合わせて輪を広げるような努力もしていただけると、今言われるような事が実現できるのではないかと思います。

木の葉 今の件ですが、中学や小学校にそれぞれ読み語りの会がありまして、私たちはそこにも重ねて出向いて行ったりしますが、そういう所との連携を基本として広げていきたいという思いはあります。夏に新城図書館祭りがありますので、そういうところで広げていきたいなと思います。

委員 今回の申請事業は日にちが27日。この事業を主催されることが木の葉のページさんの活動の全てのように見えてしまう。活動計画はきちんとされているのでいいと思いますけれども、木の葉のページさんの活動は、今回の事業申請した活動が全てなのか。全てだと、補助金がもらえなかったら全てやらないのか。木の葉のページさんの年間活動として、毎年やっていることがあると思いますが、その物とこの特別なイベントとの区別がよく分からないので、教えてください。

木の葉 補助がなくても事業はやる予定です。今回は読書会が共催をして、朗読と音楽を楽しもうということでこのように申請を出しました。

委員 印刷製本費にチラシ1,000枚とありますが、1,000枚にした理由を教えてください。

木の葉 850枚作手地区新聞折り込み用に作って、後の150枚は個人の手で皆さんに配る予定です。

事務局 はい、ありがとうございました。退席をお願いします。

(審査表記入)

(審査表回収)

事務局 本日の結果については後日報告します。
以上で第1回作手地域審議会を終わります。ありがとうございました。

11:40閉会